

山梨県PTA協議会の概要

1945年8月15日終戦、荒廃した国土の中から国民一丸となって復興の槌音が響いた。

日本の将来を担う子どもたちを、健やかでたくましく成長するようにと民主教育が提唱された。1947年（昭和22）年、これを推進するためアメリカから山梨に派遣された文民教育担当官・バン・スターヴェン氏は、「学校教育を推進するためには、親と教師が互いに連携していかなければならない」しかも「親自身が教育を知り、民主的な考えや態度を身につけることを学ばなくてはならない」そうした親と教師の会、PTA設立の必要性を助言した。

この年の7月22日、山梨県と文部省の共催で第1回社会教育研究大会が開かれ、席上PTA設立の勧奨がなされた。従って、この年を起点にして、県下各小中学校でPTAを発足させたところが多かった。

（山梨県PTA協議会の結成）

1950（昭和25）年2月24日、県立教育研修所ホールにおいて、県下のPTAの総会を開き、連合体結成について協議が行われた。

9月16日、同所に於いて、山梨県小中学校PTA連合会を結成し、事実上県下PTAを一丸とする連合体が誕生した。

1964（昭和39）年7月11日、定期総会に於いて本会名を「山梨県PTA協議会」と改称した

（親子安全会結成）

1971（昭和46）年8月、北九州市で開かれた日本PTA全国研究大会に於いて、東北ブロックから「親子安全会という相互扶助の見舞金制度を実施したらどうか」という提案があり、各都道府県が自主的に実施することで決定した。

山梨県では、1974（昭和49）年の定期総会に於いて昭和49年度を準備期間とし、翌年4月1日を期して発足することを決定した。

1975（昭和50）年2月20日、山梨県PTA協議会親子安全会結成大会開催、同年の4月1日より業務を開始した。

（扶助会結成）

2008（平成20）年6月7日、山梨県PTA扶助会総会開催、4月1日より業務開始。
PTA親子安全会の会員保護者・教職員が死亡の場合、厚生援助・弔慰見舞い金支払い制度。

（日本PTA結成と全国・関ブロ研究大会）

1952（昭和27）年10月14日

日本父母と先生の会（PTA）全国協議会結成大会を東京にて開催

1953（昭和28）年8月30日

第1回日本PTA全国研究大会開催 三重県宇治山田市

1984（昭和59）年9月13・14日

第16回関東ブロックPTA研究大会山梨大会 甲府市で開催

1995（平成7）年9月7・8日

第27回（社）日本PTA関東ブロック研究大会山梨大会 甲府市他

2000（平成12）年8月25・26日

第48回（社）日本PTA全国研究大会山梨大会 甲府市他

2009（平成21）年10月16・17日

第41回（社）日本PTA関東ブロック山梨大会開催 富士吉田市他

2013（平成25）年4月1日 「公益社団法人日本PTA全国協議会」と法人移行

2022年10月 第54回（公益社団法人）日本PTA関東ブロック山梨大会開催予定